

高度 39、000フィート

森 素 緑

9月17日、朝7時起床。ウイスチンホテル（ボストン）をチェックアウト。  
レンタカーでローガンエアポートに着いたのが8時15分頃。  
午前9時25分発シンシナチ経由ロスアンゼルス行デルタ航空DL1095便に搭乗予定  
であったが40分の遅れで無事テイクオフ。

約2時間の後、シンシナチ着。現地時間午後1時20分シンシナチ離陸。  
ロスまでは約4時間の空の旅である。  
今日は運がよく、飛び立ってから30分後には雲が途切れ、真っ青な快晴になり、空から  
全ての地表がみえる。

ここはアメリカのド真ん中、おそらくセントルイスーカンサス上空であろう。  
全米で最大の穀倉地帯、ミシシッピ川、ミズーリ川、小麦肌色の地表、緑のシル  
エットが美しい。この緑の中には何が栽培されているのだろうか？  
濃い緑はおそらく森林であろう。

小麦肌（褐色）の地表と直線に伸びる道路、その間に織り成される緑のシルエットパター  
ンは一見整列しているようだがアットランダムだ。  
まるで褐色のキャンバスに緑の絵の具を落としたようにも見える。  
ところどころに、かすかに見える小さな町並、これらの町の人々はどのような暮らしをして  
いるのだろうか？ どういう交通手段で行き来しているのだろうか？

眼下のところどころにまばらで小さい雲が現れ出した。この雲が地表に影をつくっている  
雲の織り成すシルエットもまた格別、今シンシナチ時間午後2時30分。（シンシナチよ  
り乗って、1時間30分たったところである。）  
大きな河が塞ぎ止められている、まるで湖のようだ。堰の下には大きな町があり、その先  
はくねくねした川の跡がみえる。  
眼下に半円状の飛行場、次に大河、大きな町街、、、、ここはカンサスシティ？  
オマハ？、、ジェフアーソン？

そこを過ぎると再び小麦肌の大地、緑は少ないが畑地であろう。  
褐色の大地に広がるくねくねした大きな河、小さな川、。  
川の周りには緑の繁みがあるので小さな川でも大きくみえる。  
褐色の平地は大きな道路の柵で区切られている。  
大きな正方形である。  
この正方形は大地主、大農場主の持ち物だろう。  
二列に平行に並んだ道路が正三角形をつくっている。これは何だろう？  
飛行場にも見えるが周りには畑以外、何もない。おそらく個人または農場の飛行場であろ  
う。  
中規模以上の町には必ずといっていいほど飛行場がある。

また、くねくね、今日は快晴でよくみえる。

田畑を過ぎるとちょっとした丘になってきた。丘は無毛の岩、岩や石は熱しやすく冷めやすいので、よく晴れた暑い日には熱が対流を起こし風になる。

いつも、丘や砂漠の上を通過する時にはよく揺れる。(今、パイロットがFasten Seat Beltのサインをだしたところである。)

丘と丘の間には、また農場や小さな町がみえてきた。

地上では、さまざまな人が暮らしているのだ。今、この時、皆んな何をしているのだろうか？

農場が正方形、長方形、円形と、幾何学的になっている。

まるで算数の教科書と地図を張合せたような風景である。

風景というより本当の地図だ。

この地図は印刷されたものではない、人がつくった農場、公園、道路、そして自然の山、川、上空から見るとこれが実物の地図そのものなのだ。

いままで、100回以上も米国にきて、時々このような景色にあうが、今回初めてペンをとる気になった。

飛行機の旅は楽しい。多忙な毎日のわずらわしさを吹っ飛ばしてくれる。悩みも無ければ電話もかかってこない。全くの別世界である。機内で飲むお酒もまた格別。

機内では映画が上映されているが、私は外の景色のほうがたのしい。今、丁度午後3時。ちょっと失礼してトイレに行くが、満員などでガマン。

やや、雲が多くなってきた、もやみたいだ。この雲は気流で動いている。、飛行機も動いている。動いているのは当たり前で、この様子は揺れていると言ったほうが適切である。

だんだん、もやが濃くなってきた。しかし、また、クリア スカイ (青空) になった。

雲ークリア スカイー雲ー

雲も高い雲と低い雲がある。高い雲の上は真っ青なブルースカイ。

荒廃した岩の丘、上から見ると平らに見えるが、デコボコした木の無い丘であろう。

広大な丘の間に広がる緑の田畑と真っ青な湖。今、午後3時20分。

ここはコロラド州、又はニューメキシコ州であろう。

眼下は岩の丘というより、砂漠だ。砂漠の中にも縦横に走る道路、時折見えるくねくねしたものの、これは、昔、川だった跡なのだ。

丘がだんだん高くなり、山になってきた。残念ながら下に雲が多くなってきて、良く見えない。しかし雲の間に間にかすかに白いものがみえる。

雪ではなく、塩および塩湖なのだ (ここはソールト、レークでない筈)。

いよいよコロラド、岩山に緑が多くなり、山も高くなってきた。

下は白い雲、何も見えない、雲上のスキー、快適、、、眠い。。

機長のアナウンスではラスベガス上空という。高度 39、000フィート

~~~~~

いよいよロスにアプローチ (午後4時50分)

砂漠の上を過ぎ、高度を徐々に下げた。空は晴れてきた。

山の木樹の繁みが見えてきた。

ここはパサデナかサンディエゴの近くか？ 山の上に二つの青々とした湖が見える。

この湖がロスの水源地なのだろうか？

町並が見えてきた、人間が自然を引っ掻いた足跡、ロスはスモッグの町である。

ロスに無事ランディング、シンシナチ時間 午後5時15分。ロス時間午後2時15分